

手荒れ...一人で悩まないで

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
和合せいれいの里 和合愛光園
衛生委員会
長谷川 展之
共同研究者 大岡郁江

はじめに

- 職場で、手荒れに悩んでいる同僚がいました。



「手荒れは」個人の問題？


介護の業務で手荒れは悪化しやすい

その結果仕事が出来なくなってしまうことも

目的

- 衛生委員会で手荒れを取り上げる
 - 手荒れの実態を調査
 - どんな対策が取れるのか
 - 介護の人材をどう守ってイけるのか
- ↓それによって
- 少しでも手荒れの改善が図られること
 - 職員が一人で悩まなくてもいい職場を作ること

方法

H20年12月 第1回手荒れア ンケート実施。	H21年7月 第2回手荒れア ンケート実施。	H21年12月 第3回手荒れア ンケート実施。
手荒れ予防 のための物品 の導入の検討。	職員への 情報提供。	

第1回アンケート結果

- 平成20年12月実施 介護業務に携わる職員116名中
70名、60% 手荒れの悩み抱えている。
その中で12名 病院受診している。



- 手荒れの悩み
がある 70名
- 手荒れの悩みはな
い 48名

この中で12名が病院受診！！

主な症状

あかぎれ、切れる
かさつき、乾燥する
湿疹・痒み
アトピー性皮膚炎と診断されている

個人の対策

ハンドクリームをつける。
介助の際、手袋をつける。
お湯を使わず手を洗う。
寝る前に綿の手袋をする。

自由記入欄(要望等)

液体洗剤が沁みる
ハンドクリームを園で支給して欲しい
利用者からの感染が怖い
ゴム手袋の粉が荒れた所に入り良くない

手荒れ予防物品の検討

- 手洗い洗剤のデモ
- 液体洗剤から泡タイプ洗剤への変更
PH10～11の洗剤からPH8～9.5と弱酸性に近い
ヤシの実由来の潤滑油剤配合



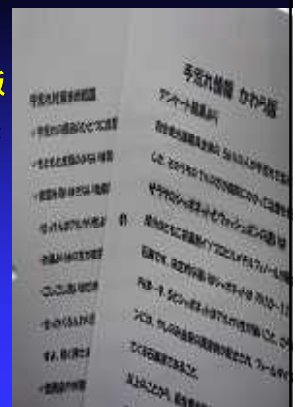
手荒れ予防物品の検討

- パウダーフリーのゴム手袋の導入
- 柔らかいペーパータオルの導入



情報提供

手荒れ情報かわら版
手荒れの実態
洗剤の紹介
まめ知識
個人で行う事ができる簡単手荒れ対策



情報提供

ハンドクリームセミナー 開催



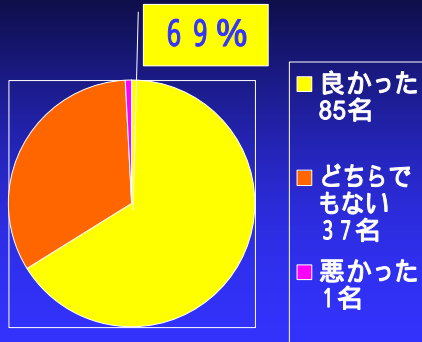
ハンドマッサージ

第2回手荒れアンケート結果

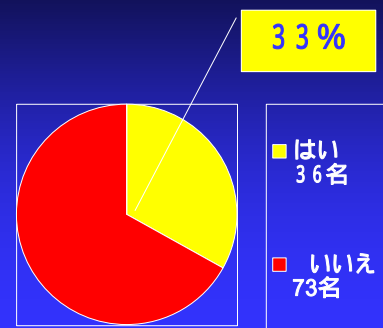
- 平成21年7月実施
- 対象者:和合愛光園実際に介護業務に携わる職員(パート職員含む) 123名
- 夏場でも19名、15%の職員に手荒れあり
- この仕事をして手荒れで【つらい】と思う 34名、27%【つらい】

職員の入れ替わりあり12月と変動あり

【園の手洗い洗剤変更してどう思う?】



【手洗い洗剤を変更して何か変化があったか?】



手洗い洗剤の感想

■ 良かった点

サラサラ
刺激少ない・沁みない
良い香りがする
泡で使いやすい
手に優しい感じ
泡立てる時間少なく時間短縮になっている

■ 手の変化

- かさかさが減った
- 手荒れ症状が減ったような気がする。
- 洗剤が沁みないので手洗いの恐怖がなくなった。
- それほど荒れなくなった。

手洗い洗剤の感想

■ 悪かった点

- 泡でも沁みるため自分の固形石鹸を使用

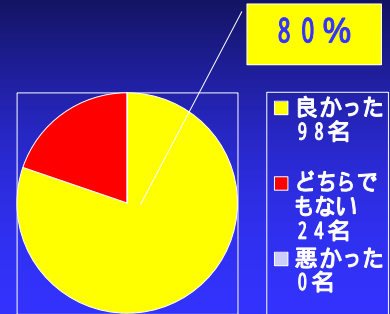
■ 手の変化

- 変わらず手荒れがある。
- 手荒れが増えて湿疹が切れるようになった

パウダフリー手袋の感想

- 使いやすい
- クリームとの併用で保湿効果があるように感じる。
- 粉が手につかず使いやすい。
- 脱ぎにくい面もある。
- 粉が入るので絆創膏を使っていたが、使わなくてよかった。

【委員会で手荒れを取り上げたことについてどう思う？】



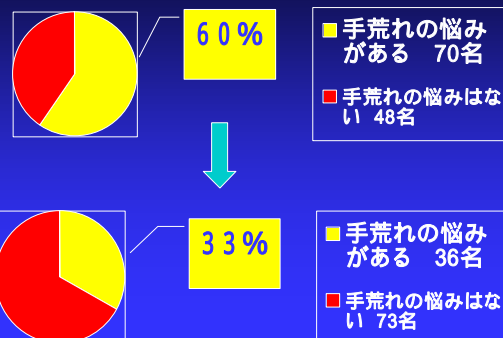
良かった理由

職員に目が向けられた
職員の精神的な緩和になると思う
手荒れに悩む職員がいることがわかった、以前から辛そうだと思っていた
手荒れのことを気にしてくれたこと
手荒れで仕事を辞めるのはホントにもったいないのでよろしく

職員からの要望

- ハンドクリームを園で購入、支給して欲しい
- セミナーの定期的 開催
- 皮膚科の医師を招いた勉強会の開催

第3回アンケート結果 1年の変化



考察

今後の取り組み

定期的にアンケートを取り、職員の手荒れの状況を調査する。
ハンドクリーム支給の検討をする。
セミナーの定期的な開催を検討する。

アンケートから見えたこと

- 手荒れの改善がみえてきた。
- 職員のケアに目がむいたことを評価された。
- 職員全体に手荒れの職員が多くいることをわかってもらえた。
- 手荒れで職員が一人で悩まず職場に相談できると思ってもらえた。

ありがとう

何よりの収穫！！

手荒れの改善 = より良いケア

- 私たちの手 = 利用者のケアのために最初に触れる
- だからこそ私たちの手のケアも大切！！
- 心身ともに豊かな気持ちを持つことは良いケアに繋がる



ご清聴ありがとうございました

